

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 7年3月31日

事業所名 第3親子教室うみべ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整 備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	6			・基準を満たしている・ 基準は満たしている が、個別配慮が必要な ときのスペース確保が 難しいと感じる	他なの配置などを工夫して いく
	②	職員の配置数は適切である	6			・基準を満たしている	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	6				
業務改 善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	6				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	6			・改善点などは職員間 でも検討している	アンケートなどの意見を聞き、改善できるところを検討 していく
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	6				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	6				
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	6				外部研修などを伝え参加出 来るようにする 配信なども活用していく
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	6				
適切 な支 援の 提 供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	6				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	6				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	5		1	・子どもたちの意見を 取り入れたり、あえて 年間を通して行う内容 も設定している・定着 するように繰り返し行 い、変化を加えて	毎回行う事で出来るよ うになること持るので、子ども達に つけて欲しい力を話し合っ ていく必要がある
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	6			・長期休み中では外出 や買い物などの活動を 設定している	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	6				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	6				
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	6				反省会で活動の振り返りや 次へ向けた話しをしていく
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	6				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	6				
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	6					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑲	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6			学校公開を見に行った際、時間があれば担任の先生と子どもについて話している	学校公開が普段の姿を見る事が出来る機会なのでなるべく見に行くようにしている
	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい	4		2	・医療的ケア児の受け入れは行っていない	
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5		1		法人内の児童発達から放デイに移行してきた子が多いので引継ぎがしっかりできている
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4		2	・医療的ケア児の受け入れは行っていない 小学生のみの利用のため、行っていない・わからない	
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6				研修がある時は参加するようにしている
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4		2	・通常級と支援級在籍児のため、そのような機会は設けていないが、地域の公園に行った際に交流することがある・一緒活動することはないが公園や地域のお祭りにいった際、	
	㉕	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	5		1		
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			・連絡ノートを活用している	
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6			・保護者向けの勉強会を実施している	
	㉘	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			・契約開始時に細かく説明を行っている	
保護者への説明責任等	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6				必要に応じて面談を行っている 公認心理士の心理相談に入れるようにしている
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6			・保護者同士が繋がれる交流会を行なっている	児童発達と合同で保護者会を行い、情報共有や先輩保護者としてアドバイスをしてくれることもある
	㉛	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6				そのつど職員間で共有し、対応を検討している
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6				
	㉝	個人情報に十分注意している	6				
	㉞	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	㉟	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6				
非常時等	㊱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6				
	㊲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		1	・訓練は行っていないが活動の中で災害の話を取り上げ、災害が起きた時の行動を確認している。	活動内容に防災について取り上げていくことも考えていく
	㊳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				虐待防止の研修会を行っている

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
の 対 応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6				
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6				
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				ヒヤリハット事案があった時は話し合いをして文書でも記録している

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。